



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 16 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 26 年 8 月～9 月
3. 出張目的 JICA 技プロ 4 年次ワークプランの作成と合同技術会議(JTC)の準備と参加、モザンビーク北部ナカラ回廊地域における有用土壌微生物に関する調査 :A

4. 成果の概要

JIRCAS が NTCI を幹事会社として結成した共同企業体が受託した JICA 技プロ活動の一環として、モザンビークに出張し以下の調査研究活動を実施した。

ProSAVANA-PI の「有用な微生物の選定」活動として、ナンプラの IIAM 研究所内にセットアップした実体顕微鏡にカメラシステムを接続することにより、観察される土壌中の菌根菌胞子の像を写真撮影できるようになった。胞子の種類や個数のカウントが容易になる。

日本の市民社会代表による ProSAVANA の活動視察に対し、研究能力向上プロジェクト(PI)として協力し、ProSAVANA を正しく理解していただくよう努めた。この努力は奏功したようである。リシंगाの北にある Niassa 州 Sanga 郡 Unango に最近造られたルリオ大学農学部のキャンパスを訪問した。次季のリシंगा近辺での on-farm 試験において、大学との協働の可能性を探ったところ、具体化はこれからであるが、ぜひ学生の教育を ProSAVANA との共同研究の下 IIAM と組んで実施したい旨の返事をいただいた。キャンパスの視察も行い、広報活動に熱心であることを高く評価した。

予定していた JTC は延期になり参加できなかったが、JTC やその後の TCM のための準備作業を行った。